



【教会は病院です！】

説教者 鄭南哲牧師

聖書箇所: エペソへの手紙4章25-32節(新改訳2017版)

(Rev.Jung namchul)

25 ですから、あなたがたは偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。私たちは互いに、からだの一部分なのです。26 怒っても、罪を犯してはなりません。憤ったままで日が暮れるようになってはいけません。27 悪魔に機会を与えないようにしなさい。28 盗みをしている者は、もう盗んではいけません。むしろ、困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。29 悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。むしろ、必要なときに、人の成長に役立つことばを語り、聞く人に恵みを与えなさい。30 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印(しょういん)を押されているのです。31 無慈悲、憤り、怒り、怒号(どごう)、ののしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。32 互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族みなさん！もう2月最後と今週末から新しい3月が始まりますね。もちろん明日から通常通りお仕事される方々もいらっしやると思いますが、明日まで3連休でお休みとなっている子ども、学生たち、大人のみなさんは心身ともにゆっくり休める時となりますように！しばらく今週中は寒波が続くようですが、引き続き、みなさんのご健康と主の祝福を心よりお祈り申し上げます。特に、今週中高校入試の受験生たちを主が見守り、助けて下さいますように切に祈らせて頂きます。

世間では教会やクリスチャンに対してあまり情報や知識も、関心も持ってない方々が日本には多いと思います。しかし、違う側面で見れば、日本で結婚式場は西洋の教会のスタイルが最も多く、本物の牧師ではなく、偽牧師であることも知っていながらも式をお願いしたり、西洋の教会堂みたいところで結婚式をあげたいという願いと期待が多くあると思います。それは、きっと教会に通うクリスチャンではなくても、教会と教会に通うクリスチャンたちへの高い期待感(聖なるところ、神が臨在される場所、キリストを信じる敬虔な人々が集まるところ)があるからではないでしょうか。

もちろん、クリスチャンである我々の中にも教会に対する期待、キリストを信じるクリスチャンたちに対する特別期待感を持っているのではないのでしょうか。教会は他のところとは違い、教会に通うクリスチャンたちもみんな良い人たちばかりだという期待感をみなさんは持ってないのでしょうか。しかし、その期待感が高まると、そこで葛藤や問題が生じます。特にイエスキリストを信じて洗礼を受けてから1年以内に教会から離れてしまうケースが最も多い理由を推測して見ると、きっと教会に通うことになり、信仰生活が始まると、教会が期待に応えることよりも、むしろ教会に通う人々に対する失望や幻滅(げんめつ)まで覚えさせてしまう時があったのではないかと思います。

クリスチャンと呼ばれる教会に通っている人々は、他の人とは違うだろうと期待し、思っていたのに、教会での生活、個人の生活や社会生活の中で世の未信者との別に違いがない同じ姿で生きていることに気づきます。この世と社会とは違って、教会の中では、赦しと愛を溢れて経験できると思っていたのに、むしろ、教会の中で争ったり、それぞれ分かれていたり、長く馴染んでいる仲間のグループに入れさせてくれない姿を見て、教会に対して、クリスチャンに対してがっかりしてしまう人々を見る時があります。そのため、ある人たちは、どの教会に行っても満足できず、あちこちを転々とする人もいます。

しかし、満足できる理想的な教会を見つけることは不可能です。どの教会であっても、多少なりとも失望し、通うのをやめる人もいます。長年教会生活を送ってきた人々も、教会の日曜日の礼拝に参加しないことが増えつつ、家で家族だけで家庭礼拝を捧げようとしますが、それも長くても1年から、1ヶ月、二ヶ月経つと結局、信仰生活すらやめてしまうケースも多いかと思います。

理想的な教会で教会生活を送りたいという願いは誰にでもあるものでしょう。しかし、理想的な教会を探す前に、まず「理想的な教会とは何か」を知る必要があるでしょう。

クリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族皆さんはどんな教会が理想的な教会の姿だと思っていますか。今日は、聖書を通して、聖書が教えている理想的な教会の姿を調べてみたいと願います。

聖書には、色々な教会の姿が現れていますが、私は聖書の中エペソ教会こそ、私たちが探す理想的な教会となる一番多くの良い条件を整っていたのではないかと思います。教会が理想的な教会の姿となるためには、例え、まず、教会の良い位置と場所がよくならなければならないでしょう。その面では当時、エペソ教会は、小アジアの交通の中心地でした。理想的な教会となるためには、文化的な背景も必要だと思います。エペソはイエスが地上に来られる400年以上も前に建設され、当時すでに舗装道路(ほそうどうろ; ペーブメント)が整備されたほど文化的にとっても進んでいた都市でした。経済的にも文化的にも重要な拠点となっていました。当時エペソの守護人アフロディテだったので、都市中心にはアフロディテ神殿がありました。アフロディテ神殿はピラミッドとともに世界七不思議の一つにも数えられています。

理想的な教会になるためには、誰がその教会を創立したのかも重要かも知れませんが、エペソ教会は使徒パウロによって設立された教会でした。理想的な教会には訓練された指導者が必要ですが、エペソ教会で使徒パウロは3年間も滞在しながら、集中して弟子たちを養い訓練された教会でした。ですから、エペソ教会は理想的な教会となるための条件をほとんど備えていた教会のように見えます。

ところが、今日の本文に現れているエペソ教会の姿を見ると、エペソ教会が私たちの期待する姿とはかなり異なっていたことが分かります。本文25節をご覧ください。「**ですから、あなたがたは偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。(25節)**」つまり、この御言葉の意味は、エペソ教会の中には、よくそをつく人々がいたことが示されています。26節では、「**怒っても、罪を犯してはなりません。憤ったままで日が暮れるようであってはいけません。**」とされています。すなわち、エペソ教会の中には、血気(けつき)盛んな人々もいたことを示しています。28節では「**盗みをしている者は、もう盗んではいけません。**」とされています。エペソ教会の中に盗人たちもいたことが分かります。そうでなければ、わざわざ盗むことについて言及する必要はないでしょう。また29節では「**悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。**」と語っています。エペソ教会の中にはよく人の前で汚い言葉、淫乱な言葉、人に対して悪口雑言(あっこうぞうごん)を吐いたり、陰で人の悪口を言う人たちも教会の中に集まっていたことも示されています。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族信仰の家族の皆さん！

実は、これこそが聖書が語る「理想的な教会」の姿でした！我々が考える理想的な教会の姿は、聖人たちのような人々の集まりかも知れません。しかし、**キリストが考えておられた理想的な教会の姿は、罪人たちが集まるどころでした！**なぜ多くの人々が教会と教会に通う人々を見て失望するのでしょうか。それは、教会で天国を期待しているからではないのでしょうか。ところが、実際聖書が教えて下っている理想的な教会の姿は**天国ではなく、病院の姿**です。

傷だらけで、高慢で、頑固で、自己中で、意固地で、血気盛んで、人の前で、陰で悪口をたたいたり、酒、タバコ、賭け事などに依存する人々が集まり、**神の愛と恵みの中で変えられていく治療の場こそが理想的な教会**です。私たちはまず教会に対する概念(がいねん)と固定観念(こていかんねん)から変えなければならないかもしれません。地上での主の教会は天国ではなく**病院**なのです。

教会は病院であるからこそ、癒しと回復の御業が起こらなければなりません。そうするためには、私たちは治療のみわざが起こされる雰囲気を整え、作らなければなりません。また、自分自身も治療を受けなければなりません。

今日の本文32節で、使徒パウロは、治療の雰囲気を作るための**具体的な方法を提案**しています。

「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。」教会には、**①赦し合う雰囲気が絶対に必要**です。それがあってこそ治療が可能になるのです。

避難したり、間違いを指摘することは、病院に来た気力が衰えている重病患者にどうして、ちゃんと食べれないのか、運動しないのかと非難するようなものです。身体に異常を感じ、無力で気力を失い、日常生活

ができないからこそ、病院を訪れたのに、どうして普通のことが出来ないのと責めたらどうなるでしょうか。自己中で頑固で意固地(いこじ)な性格を直そうと教会に来たのに、自己中で意固地だと責めたらどうでしょうか。病院では、患者さんがしっかり出来なくても、どんな状態であろうと受け入れます。教会も同じでなければならぬのではないのでしょうか。人は不完全であることを認めなければなりません。人柄が悪くなくても、人格的に不足なくとも、叱ったり、責めたりしてはいけません。

治療を受け入れる雰囲気を作るために、教会の雰囲気が②家族的でなければなりません。

私は教会の中信徒同士で、“兄弟、姉妹”と呼ばれることがとても嬉しいです。教会が家族であることがあらわされるからです。教会は、自分の犯した過ちや失敗が赦される場所です。このような家庭のような雰囲気が整えられてこそ、神様の癒しの御業を現していただけます。

また、教会に癒しの御業が起こされるためには、教会の雰囲気が③前向きで、肯定的じゃなければなりません。今日の聖書本文を見ると、使徒パウロは「してはならない」と言った後、すぐに「しなさい」と命じています。「してはならない」と言われると、人の本姓は逆にそれをやりたがる者です。使徒パウロは罪ある人のこの部分をよく理解していました。

それで、28節で「盗みをしている者は、もう盗んではいけません。」と言った後、「働き、貧しい者に施しなさい。困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。」と述べています。すなわち、今後は他人の物を盗むだけでなく、さらに一歩進んで自分の手で熱心に働き、人に分け与え施しなさい!というのです。

29節でも「悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。むしろ、必要なときに、人の成長に役立つことばを語り、聞く人に恵みを与えなさい。」と語っています。癒されるために「してはならない」で止まてはいけません。さらに一歩進んで、積極的に「行いなさい」と言わなければなりません。

私の大分前のことですが、結構冗談を言って周りの人々を笑わせるのが好きでした。しかし、ある日気づいたのは、その冗談が時に他人を見下しているように相手を感じ取らせてしまい、傷つけているのではないかと気づきました。私が軽い冗談を言うと、相手も笑いながらも、実は本当は不快な気持ちをさせてしまうように感じたのです。そのため、私は自分の言葉を抑えることを決心しました。でもなかなかそう実践することが出来なかったのです。やらないようにしようと思うたびに後悔することばかりでした。そこで、「やらないようにしよう」ではなく、「やろう」と考えを変えました。つまり、他人を見下すことをやらない代わりに、積極的に他人を立てあげ、称賛する言葉を言うことに変えました。その後、軽い冗談も他人を傷つけることが自然に少なくなりました。

信徒の皆さん、どんな決心をするにしても、それを肯定的で、前向きなものに変えて見てください。謙遜な人になりたい方は、自分を低くしようとするより、他人を立て上げようと高める言葉を言うようにやって見てください。これが真の謙遜であり、同時に前向きな決意なのです。例えば、「たいしたことない」と思われる指導者であっても、その指導者が語る言葉を敬い、従うことが、自分を謙遜にしてくれるのです。

私たちは肯定的で、前向きでなければなりません。例えば、子供たちに小言を言うのをやめようと決心するより、子どもたちにもっと褒めてあげたいと決心して見てください。皆さん、治療は否定的なところからではなく、肯定的で前向きなところこそ行われるからです。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信徒の家族の皆さん、我らの教会を神の癒しの御業が起こされ、人が癒され回復される病院として作っていきましょう。何方でも我らの教会に来て、安心して自分自身を見つめ直し、自分の問題や心の悩みをさらけ出せる病院のような雰囲気を作りましょう。

教会がどのようにすれば癒しが起こされ、回復される病院の雰囲気に変わるのでしょうか。

いつも癒しの御業は、④小さなグループを通して起こります。

癒しの御業を起こされるためには、教会は**より小さくなる必要**があります。ですから、約8人程度の家の教会を作る必要があります。**家の教会**は単なる地域ごとの一つの教会の組織ではなく、**そのまま教会**です。そこには素直な分かち合いもあり、教えもあり、訓練もあり、宣教もあり、何よりも**実際に癒しと回復が行われる小さな教会**なのです。皆さんが家族を思い浮かべる時妻や夫、子供たちだけでなく、家の教会に所属する**6~12人程度の家族**を思い出してください。この人たちの前では、自分の弱さをさらけ出せるだけでなく、問題が生じた時には助けを求めることができます。こうした**家族のような小さな教会**たちが集まり、我らの教会を築くことを願っています。

私は、聖書に基づいた理想的な教会を目指すべき使命がわれらに与えられていると信じています。この家の教会がこの機能をうまく果たす時、我らは本当の愛を実践することが可能になると信じます。私たちは隣人を愛さなければならないことはよく知っています。しかし、具体的にどこから始め、どのようにすれば良いのか分からず迷う時が多くあります。しかし、これから私たちがこの家の教会を通して**6~12人程度**を家族のように愛するならば、愛に対する概念がとても具体的に変わるでしょう。

今まで、私たちは聖書の御言葉を通して愛を実践しようとしても、あまりにも抽象的にしか考えられなかったかも知れません。わたしは、**キリストが望まれる具体的な愛を実践できる教会の姿が家の教会**ではないでしょうか。クリスチャンプレイズチャーチではすでに6つの家の教会が存在していることも感謝致します。24年度にも家の教会、各牧場の中で愛の共同体、神の癒しを共に体験共同体となるように献身的に仕えて下さった江南牧場の牧者久富弥生牧者はじめ、江南牧場家族のみなさん、あおひら牧場の棚橋真之介・恩恵牧者はじめ、あおひら牧場家族のみなさん！ひかり牧場の箕輪勇氣・智絵牧者ご夫妻はじめ、ひかり牧場家族のみなさん、美ら牧場の福井雅巳・レイディ牧者はじめ、美ら牧場家族のみなさん、いこいの牧場川副浩太牧者はじめ、いこいの牧場家族のみなさん、ドイツにある三重牧場の川副真生・まゆみ牧者はじめ牧場家族のみなさんに心から感謝致します。

願わくは、私たちの教会の信仰の家族皆さん、これからも同じ夢を持って、我らのクリスチャンプレイズチャーチの家の教会牧場が愛のうちに益々癒しと回復の神の御業が起こされ、体験出来る病院となり、家族のように安心して互いに愛し合う神の家族共同体の教会となっていきますように心から切に祈り、さらなる祝福を心からお祈り申し上げます！アーメン！